

令和4年度ドイツ交流校ポイティンガー・ギムナジウム訪問 報告書

ドイツ バイエルン州アウグスブルグにあるポイティンガー・ギムナジウムに 8泊9日の日程で訪問してきました。コロナ感染拡大以来3年ぶりの訪問で、神奈川県立高校の海外姉妹校訪問としては初めてになります。そのうち 6日間はポイティンガー・ギムナジウムの生徒の家庭にホームステイをしました。

■1日目

羽田空港からドイツのミュンヘン空港まで直行便で向かいました。ドイツの空港に到着したのは17時ごろでしたが、バスに乗り込んだ時にはもう辺りは真っ暗でした。1日目はミュンヘン市内のホテルに宿泊しました。

■2日目

ダッハウ強制収容所へフィールドトリップに出かけました。当時の収容所の様子が見られる様々な展示に色々と考えさせられた様子でした。ダッハウ強制収容所見学の後には、ミュンヘンに戻りドイツならではの大きなソーセージなどを堪能し、ポイティンガー・ギムナジウムへと向かいます。

緊張しながらもホストファミリー、ホストチューデントとの初対面です。



■3日目

ホストチューデントと一緒に、ポイティンガー・ギムナジウムの授業を受けました。

■4～5日目

生徒たちはホストファミリーと週末を過ごしました。ホストファミリーと一緒にもみの木を切りに行くなど、ドイツのクリスマスを過ごした生徒も多かったようです。



■6日目

ノイシュバンシュタイン城、フュッセンヘフィールドトリップに出かけました。目的地に向かう車窓からは、南ドイツの伝統的な家々の風景なども楽しむことができました。



■7日目

朝から日本についてのプレゼンテーションを行いました。トピックは「日本の都市」「日本の台風・地震とその対策」「日本文化と年中行事」です。実際に試してもらえるよう、日本から味噌汁を持参したり、クイズ形式にしたりと工夫をした成果が実り、ポイティンガー・ギムナジウムの生徒はとても興味深くプレゼンを聞いていました。



■8日目

とうとう最終日。ホストファミリーと涙のお別れをし、フランクフルトへと向かいます。クリスマス間近ということもあり、クリスマスマーケットなども楽しみました。長いようで短い8日間、生徒たちはとても貴重な体験をたくさんしたようです。

